

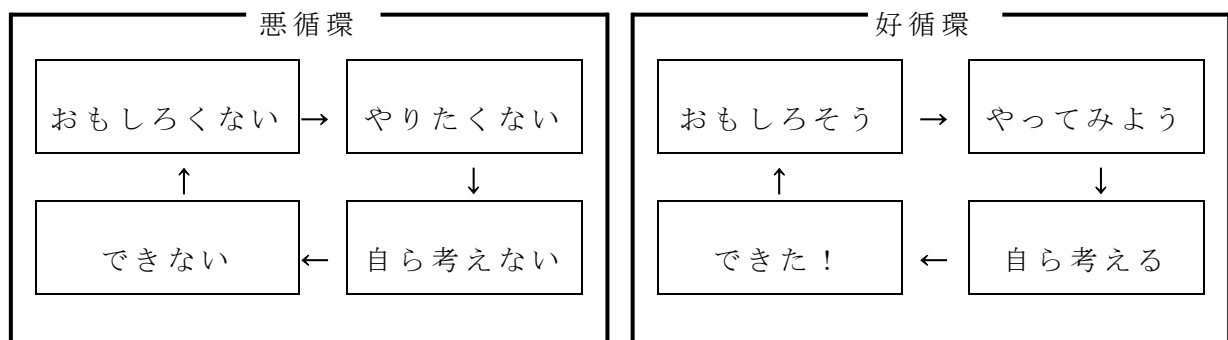
(算数)

「児童が自分の考えをもち、すすんで学習に取り組む算数科の指導」

大阪市立西生野小学校

1. 研究主題設定の理由

昨年度の児童アンケートでは、「自分からすすんで学習に取り組んでいますか」に対して、「たいへんそう思う」と回答した児童の割合が33.0%で、平成27年度の17.9%よりも大きく上回り、ほぼ3分の1の児童が「自分からすすんで学習に取り組んでいる」と答えている。これは、平成27年度から「児童が自分の考えをもち、すすんで学習に取り組む算数科の指導」を研究主題として授業改善に取り組んだ成果と考えられる。しかし、しんだんテストや経年調査の結果を見ると、大阪市平均よりも下回っている状況である。これは、下のような悪循環に陥っている児童がまだ多いからだと考えられる。この悪循環を断ち切り、好循環に導いていく必要がある。



そこで本年度も、児童の内発的な学習意欲を高め、自らすすんで学習に取り組ませるための指導のあり方を実践をもとに探っていくことで、研究主題に迫っていきたいと考えた。

2. 研究の基本的な考え方

(1) 「すすんで学習に取り組む」児童の姿

「すすんで学習に取り組む」児童とは、指示されたことだけするのではなく、

- ① 未知のものや今の自分には解決できないことに会ったとき、既習事項の中から解決の糸口を見いだし、何らかの解決方法を見つけようとする児童
- ② いくつかの解決方法の中からよりよい解決方法や考え方を見つけ、それを自分のものとして活用していこうとする児童ととらえる。

(2) すすんで学習に取り組ませるために

- ① 児童の内発的な意欲を高める
- ② 個に応じた学習指導を充実する。
- ③ 児童が自ら考え、判断する場面と時間を確保する。

3. 研究の内容

上記の研究の基本的な考え方をふまえて、研究主題に迫るために、本年度も下記の3つの視点を設定し、研究を進めてきた。

- (1) 児童がすすんで学習に取り組むための学習過程を工夫する

大阪市小学校教育研究会算数部が提唱する問題解決学習の各段階

【出あう】→【気づく】→【考える】→【振りかえる】→【活かす】

を基本として、すすんで学習に取り組ませるための学習過程を工夫していく。

- (2) 個に応じた支援のあり方を探る

児童が自力で解決するための支援の場として、問題解決学習の各段階で、支援のあり方を探り、工夫していく。

- (3) すすんで学習に取り組ませるための学習指導材を工夫する

児童の実態や指導内容に応じた学習指導材を工夫し、算数的活動を充実させていく。特に、ICT機器を効果的に活用できるよう工夫していく。

4. 研究のまとめ

- (1) 研究の成果

- 児童が主体的に学習に取り組むための学習過程を設定し、それを基本としながら、各学年の実態や指導内容に応じて柔軟に扱うようにしたので、児童に問題解決学習の楽しさを体験させることができ、学習の進め方を身につけさせることができた。
- 児童の興味を喚起し、学習意欲を高めるための学習指導材や問題場面の提示の仕方を工夫したことにより、学習課題を自分のものとしてとらえさせることができ、解決の必要感をもって学習に取り組ませることができた。

また、個に応じた支援のあり方を問題解決学習の過程ごとに明確にした上で、学習ノートやICT機器の使い方を工夫したり、児童同士で相談する場やT・Tによる個別指導を充実したりしたことによって、一人一人の児童に解決できた時の成就感を味わわせることができた。この成就感が児童の自信となり、自らすすんで取り組むきっかけとなった。

- 全学年において、児童の実態や指導内容に応じた学習指導材を工夫したことにより、算数的活動を充実させることができた。低学年では実物を実際に操作することが有効であること、中・高学年ではICT機器を活用することが有効であることがわかってきた。特にICT機器については、学習過程の様々な場面で様々な活用の仕方ができることが明らかとなった。ICT機器のもつ特性と学習内容とを照らし合わせて、より効果的に活用できるように工夫した。

- (2) 今後の課題

- 児童の実態や指導内容に応じた実践を蓄積し、各学年に応じた効果的な学習過程の工夫を続けていくとともに、新学習指導要領を受けた指導計画を設定し、支援のあり方について探っていく。
- 個に応じるための支援のあり方をさらに掘り下げて探っていくとともに、効果的な指導形態や指導者の役割についても探っていく。
- タブレットPCをはじめとするICT機器の効果的な活用方法について、さらに実践を積み重ねていくとともに、評価の対象としての活用方法について探っていく。
- 悪循環に陥っている児童がまだまだ多いので、悪循環を断ち切り、好循環に導いていくために、日々の指導の充実を図っていく。